

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	商学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果 (研究科)
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ (学部) - コースワークとリサーチワークのバランス (院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供 (学部) - 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容 (学部) - 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供 (院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供 (専院)

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 前期課程、後期課程5年一貫教育により修了時に学位が取得できる指導体制を確立する。	→研究職コース指導委員会のあり方を再確認し、指導状況の報告の増大。	A	B	A	A	/
2. 前期課程修了者の一定の資質を確保する。	→各専門分野において他研究科目も含めた履修プログラムのモデルの提示。	C	B	B	B	/

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	2012年度には学位論文評価基準を明文化し、学位取得プロセス図とともに、履修案内およびWebサイトで学生および社会に公表、周知している。研究職コース指導委員会からも規定通りに指導状況報告書が提出されており、進捗度評価はAとした。
目標2	指導教員が学位取得に必要な科目を学生ごとに個別に履修指導を行い、教員の指導の下で履修が行われている。特に研究職コースでは、主分野外科目からの履修が要求されており、指導委員会の指導の下で博士論文の執筆に必要なさまざまな専門知識の履修を行っている。このため、各分野ごとの履修モデルは提示していない。なお、学生の過半数である中国からの留学生に対して、日本語でのプレゼンテーション、論文作成をサポートする科目の履修を積極的に指導し、必要な学生が履修した。これらを勘案し、履修モデルはないが、進捗度評価はBとした。
備考	